

■ 脱植民地化と新たな連帯 - 南アフリカ人ジャーナリストが見たアフリカの変容

アフリカを報道する

- 南アフリカのジャーナリスト Colin Legum 関連文書 -
**Reporting on Africa:
From Apartheid to Pan-Africanism, 1949-1995**

アフリカの政治に関するジャーナリズムの報道を探る



Colin Legum (1919-2003) は、南アフリカ出身のジャーナリストで、アフリカ政治に関する著述家です。彼は農業が盛んな田舎町ケステルで生まれ、幼少期に目の当たりにした極度の貧困と人種的不正義が彼の世界観を形成しました。この経験が政治報道への情熱を育み、15歳でヨハネスブルクの新聞『Sunday Express』でジャーナリストとしてのキャリアをスタートさせました。

Legum は 1948 年に政権を握ったアパルトヘイト政府を容認できず、翌年イギリスへ渡りました。その後、『オブザーバー』紙で働きながら反アパルトヘイトの論説を展開し、イギリス国内でアフリカの歴史を広めることに貢献しました。

本コレクションには、20 世紀のアフリカ政治に関する Legum の多様な著作や報道が収められています。これには、アフリカ統一機構 (Organisation of African Unity, OAU) をはじめとする汎アフリカ主義に関する資料、南アフリカのアパルトヘイト政権を記録・批判した記事、さらに脱植民地化と冷戦という背景のもとでのアフリカ政治に関する分析が含まれています。Legum は 1991 年、政治的に可能になったことで南アフリカへ帰国し、2003 年に亡くなるまで同地で暮らしました。



大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費 (Annual Hosting Fee)**は**不要**です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

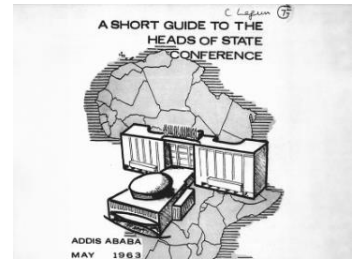
〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp





本コレクションの主要なテーマの一つは「汎アフリカ主義」であり、これはアフリカの先住民やディアスポラ（国外に離散したアフリカ系民族）の間で連帯を育むことを目的とした世界的な運動です。このテーマに関連する資料には、アディスアベバ憲章やアフリカ統一機構（OAU）、さらには汎アフリカ統一を目指して開催された各種サミットや会議に関する記録が含まれています。

また、アパルトヘイト政権下の南アフリカにおける週刊プレスダイジェストも収録されており、当時の出来事がさまざまなメディアによってどのように報道されたかが詳細に記されています。「アパルトヘイト」は、アフリカーンス語で「分離」を意味し、国民党政権によって導入された制度化された人種隔離政策を指します。この制度は、白人の少数派を優遇する形で施行されました。

さらに、植民地支配と独立に関するジャーナリスティックな報道、冷戦下におけるアフリカの立ち位置、そしてアフリカ各国の国内政治に関する多様な資料も含まれています。

■文書のタイプ別に全 5 パートに整理されたアーカイブ

1. Documents, Papers & Memoranda on the Growth of the Pan-African Movement since 1952

新聞記事の切り抜き、学術誌の抜粋、パンフレット、タイプ打ちの資料などが豊富に収録されており、汎アフリカ主義の指導者や著名人、汎アフリカ主義のテーマ、政治・経済問題、各種会議やサミットに関する記録が含まれています。これらの記録の中で最も重要なテーマは、1963 年 5 月に開催されたアディスアベバ首脳会議です。この会議には、植民地支配から解放されたばかりのアフリカ諸国の首脳が集まり、大陸の新たなアイデンティティを確立しようとしました。その成果として、アフリカ統一機構（OAU）のアディスアベバ憲章が採択されました。本資料には、その後のアフリカ大陸の社会経済問題に関する各種会議の記録も含まれています。

2. Resolutions etc of The Organisation of African Unity and Other Documents Since 1963

印刷物やタイプ打ちの資料に加え、多数の新聞記事や学術誌の記事を収録。これらの文書の大部分はアフリカ統一機構（OAU）の会議に関するもので、テーマはアフリカ諸国の国際関係および相互関係に及びます。国際関係に関しては、OAU と国際連合（UN）などの国際機関との関係、南アフリカなど近隣諸国との問題、さらには植民地主義およびアパルトヘイトとの闘いを支援する OAU 援助基金の設立と運営に関する記録が含まれています。

3. South Africa: The Early Years of Apartheid South African Press Digests, 1949-1972

南アフリカの主要な新聞・雑誌の内容を年ごとにまとめた週刊ダイジェストで、アパルトヘイト初期の 24 年間にわたり南アフリカ・ユダヤ人代表委員会によって発行されました。主なテーマとして、まず非白人、次に一般市民に対して課された制限の強化が挙げられます。活動家が裁判なしで自宅軟禁される際の口実として「共産主義」が頻繁に利用されたことが記録されています。また、当時の政党政治の動向も詳細に記録されており、白人のみの選挙制度において、各政党の非白人政策が選挙結果にどのような影響を与えるかが頻繁に報告されています。さらに、市民による不服従運動の記録も多く含まれています。

4. Colin Legum's Third World Reports 1982-1995

第三世界の動向および主要国と第三世界諸国の関係についての週刊ニュース分析。このレポートの中心テーマは戦争と流血を伴う政権交代である。エチオピア、スーダン、ブルンジ、ルワンダ、アンゴラの内戦は、和平交渉の前後を含めて詳細に記録されている。1984 年には飢饉による食糧危機が発生し、何億人ものアフリカ人が食糧不足に陥る状況が報告されている。ナミビア初の選挙では、候補者暗殺の懸念がある中で実施されたことが記録され、カダフィ大佐への暗殺未遂事件も報道された。また、1994 年には南アフリカが白人少数支配と厳しい人種制限の体制から脱却し、初の民主的選挙による大統領が誕生するまでの過程が詳しく記録されている。

5. Colin Legum's Writings from the 1940s to the 1980s

これらの著作は、地理的な焦点ごとに分類されています。本コレクションの中心テーマは三つあり、第一に、アフリカ諸国が植民地支配から独立するまでの血塗られた歴史です。第二に、Legum は特に南アフリカに重点を置いており、南アフリカに関する資料はボックス 2、3、8 に分散して収録されています。第三のテーマは政治的影響であり、共産主義国家との交渉、ガーナへの社会主義の影響、そして社会主義が英連邦にもたらした影響についての議論が含まれています。

British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極 東 書 店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp